

会 議 録

1 会議名

平成29年度第6回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域協議会会長会議について（公開）

(2) 地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて（公開）

(3) 三郷区の地域課題について（公開）

3 開催日時

平成29年12月5日（火）午後6時26分から午後7時55分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：山口典夫（会長）、竹内浩行（副会長）、保坂裕子（副会長）、池内幸雄、伊藤善一、尾崎祐三、加藤与三郎、二野 浩、保坂真由美、山田宏文、横尾彰平

・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、榎島係長、小林主事

8 発言の内容（要旨）

【小林主事】

- ・佐藤委員を除く11名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は山口会長が務めることを報告

【山口会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：池内委員、横尾委員に依頼
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【山口会長】

質疑を求めるがなし。

—次第3報告（1）地域協議会会長会議について—

【山口会長】

次第3報告（1）「地域協議会会長会議について」に入る。

11月21日に地域協議会会長会議が開かれ、私が出席したので報告する。

当日配布資料No.1により説明。

- ・平成30年度地域活動支援事業は平成29年度と同様で実施予定
- ・「会長間の意見交換」概要

「（1）テーマ設定・審議開始まで」

三郷区の取組…別紙1右下「地域内での解決に向けた活動」に該当

各区の取組事例について、いくつかの区から紹介

課題に優先順位をつけ、短期と中長期のものに整理

地域協議会、町内会長、まちづくり振興会、行政等で連絡組織を作り情報交換

小学校区単位で地域住民と意見交換（地域協議会委員が進行）

「（2）審議開始後から課題解決まで」

各区の自主的審議の取組状況について、いくつかの区から紹介

三郷区で進めている（仮称）三郷まちづくり振興会の立ち上げ

…委員が町内会長や関係団体と協議し立ち上げた好事例として高い評価

諏訪区の「諏訪区内への移住促進策について」

質疑を求めるがなし。

—次第4議題（1）地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて—

【山口会長】

次に、次第4議題（1）「地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて」、事務局に説明を求める。

【小林主事】

資料No.1～3により説明。

【山口会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

来年度の地域活動支援事業の募集要項、審査・採択の基本的なルールを資料No.1～3のとおりとすることを諮り、委員全員の了承を得る。

採択事業については、事業の種類にかかわらず、なるべく現地に行くことを依頼。

—次第4議題（2）三郷区の地域課題について—

【山口会長】

次に、次第4議題（2）「三郷区の地域課題について」に入る。

改めて、今後のグループ討議の進め方について確認する。

- ・自主的審議事項として取り上げ、議論を進めていくべき課題について話し合う
- ・グループ討議により課題を整理する作業を、今回を含め2回行う
- ・課題を1つに絞り込む必要はない
- ・それが終わったら、各班のグループ討議結果を自主的審議事項に取り上げるかどうか、全体で協議する
- ・自主的審議事項に取り上げる課題は複数でもよいが、優先順位を付ける
- ・短期に取り組む課題、中長期に取り組む課題に整理を

本日は、第4回地域協議会の続きから、グループ討議を行う。1時間程度討議し、最後に全体発表を行う。

—グループ討議—

【山口会長】

グループ討議の結果をAグループから各班3分程度で発表を。

【二野委員】

Aグループは、人口減少をテーマに討論した。少子高齢化は全国どこでも一緒に、確実に人口は減っていく。若い人の就職先が少なく、外国人を雇用しているところが多い。その中で三郷地区に来てもらい人口を増やすためには、三郷地区をいかにアピールでき

るかという議論をした。

現在、三郷地区に空き家は何軒あるか調べる必要がある。西松野木や長者町で不動産業者が入って売買されている例もあるため、ある程度住みやすい場所なのだろう。三郷地区は農業振興地域なので、大規模な宅地造成をして一気に増やすことは難しい。そのようななか、空き地があれば、知人、友人、親戚の方々から、1軒ずつ増やしていてもよいのではないかという意見があった。

三郷地区は妙高山が非常にきれいに見えるため、写真を撮ったり絵を描いたりできる場所をマップにしてはどうか。良い所がある、住みやすい、「上越妙高駅から何分」と入れ、写真も入れた手作りのマップをいろいろなところに置いてもらうのも一つの方法だろうと。

県道は朝夕通勤で通る方が多いため、空き店舗などで朝採り野菜などを販売してはどうかという案もあった。

今回話し合っていることは、来年4月から発足する予定の地域の団体で取り組む方がよいのではないかという意見もあった。

【保坂真由美委員】

前回Bグループでは、公民館、空き地、上越地域医療センター病院、農業の担い手、少子化を挙げた。

公民館については、目途がつきそうだという話もあり、平成30年度の動きを見ることとして、一旦終わりにした。

地域の一番の問題として、少子化と空き家に絞った。まずは三郷地区の空き家の現状を調べ、行政の条例を勉強する。空き家が埋まれば少子化問題も何とかなるということで、話し合いは今後、として終えた。

農業の担い手については、ほ場整備や営農計画で5年、10年、15年先くらいにはかなりの形になるようだが、それも空き家に若い方々が住んでくれば、少しは農業にも目が向き、うまい具合に進むのではないかと、長期の課題とした。

とにかく空き家を埋めていけば、三郷地区が盛り上がっていくのではないかと締めくくった。

【山口会長】

この結果は事務局でまとめ、後日皆さんに配布し、絞り込みを行いたい。

今聞いた範囲では、A班、B班ともに方向性に一致した面が出てきている。

—次第5 事務連絡—

【山口会長】

次第5「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

- ・第7回協議会 2月21日（水）午後6時30分～ 三郷地区公民館 集会室
- ・当日配布資料

高田区地域協議会意見書（写し）

創造行政研究所ニュースレター「創造行政」

第4回信越県境地域づくり交流会案内チラシ

【山口会長】

質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL：025-522-8831

E-mail：nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。